

平成 19 年 12 月 20 日

加西市議会議長 桜井 光男 様

厚生常任委員長 高 見 忍

厚生常任委員会行政視察報告書

1. 調査年月日 平成 19 年 11 月 19 日 (月) ~21 日 (水)
2. 視 察 先 福島県須賀川市、宮城県白石市、公立置賜総合病院 (山形県)
3. 参 加 者 高見 忍、井上芳弘、高橋佐代子、小谷安富、丸岡弘満、村岡智之 (随行)
4. 視 察 内 容

福島県須賀川市 平成 19 年 11 月 19 日 (月)

子育て支援策について (10:00~11:00)

高齢者サロン事業について (11:00~12:00)

福祉施設 (子ども園) 視察 (13:00~15:00)

【所感】

須賀川市は福祉行政を重点課題として取り組み、安心して子どもを産み育てられる対策、高齢者が安全・安心、生きがいを持って健康で生きつづけられる対策について積極的に取り組まれていることを実感いたしました。その成果が出生率減少に歯止めがかかり、平成 15 年度から人口が毎年若干ではあるが増加しています。

【特徴】

平成 18 年度に中心市街地のデパートが撤退したため、須賀川市が 7 億円で買取り改修して平成 19 年 4 月に総合福祉センターとしてオープンされている。

市民の憩いと交流の場、福祉の行政機能、子育て支援、市民活動の支援、市民の学習や読書の場、催事、展示スペースなどを設け、市民福祉向上のための拠点として利活用されています。

- 1 階 市民の憩いと交流の場 (市民交流サロン)
- 2 階 福祉の行政機能 (市保健福祉部、社会福祉協議会事務局)
- 3 階 子育てサポート (子育てサロン)
市民活動やボランティアをサポート
訪問介護事業所 (社協訪問介護事業所)
- 4 階 市民の学習と読書の場 (学習コーナー、市民情報コーナー、環境学習コーナー)
- 5 階 展示催事スペース (多目的ホール、会議室)
- 屋上 太陽光発電パネル (年間総発電量約 2 万 kwh)

【子育て支援】

- ・赤ちゃんの健康相談

電話相談も実施

- ・母子健康手帳の交付

妊娠中の過ごし方相談、保健事業の説明

- ・家庭訪問

妊産婦や乳幼児、寝たきりの方の家庭に保健師や栄養士が訪問

- ・乳幼児健康診査

- ・予防接種

- ・むし歯予防

フッ素塗布（1歳～3歳7ヶ月）

- ・お子さんの学級

おひさま学級、なかよし学級、ママーズほっとタイム、育児教室

- ・小児科のある医療機関・個別予防接種指定医療機関

病院（6病院）診療所（27）

- ・保育対策

保育所 公立10、私立2 定員810、実質818

通常保育7：30～18：30 延長保育18：30～19：00（無料）

【高齢者サロン事業】

（事業目的）

地域の高齢者が文化活動、趣味、教養学習活動、スポーツ、ボランティア活動を通じて、月1回以上ふれあい交流の促進および支援をすること

（事業実施団体）

1. 団体は、家に閉じこもりがちな高齢者等が地域との交流を図ることができる事業の企画立案を行い、実施する
2. 独立した団体であり、会則を定め、会長及び副会長等の役員を置くこととし、役員は総会において選任
3. 団体に属する者は、本市に住所を定めていること
4. 団体は複数の町内会等でもつくることもできる
5. 実施団体は会費等を徴収できる

（補助対象事業）

1. 3世代交流事業
2. 教養の向上を図るための事業
3. 生きがい対策事業
4. 地域奉仕作業
5. 地区高齢者のふれあい交流事業
6. その他必要な事業

（補助対象経費）

補助対象となるのは、対象事業経費のうち、講師謝礼や、活動旅費（旅行にかかる宿代は除く）、原材料費などソフト事業に関する経費のみとする。（備品購入などのハード面に関する

る経費及び個人が負担すべき飲食などの経費は除く)

また、他の団体と合同して事業を実施する場合は、その事業費を、参加人数等により按分することとする。

(留意事項)

サロン事業実施団体は、地域の高齢者に広く事業実施の連絡等を行うものとする。

また、老人クラブと合同で事業を実施することも可能であるが、双方とも独立した団体であるので、事業実施の際は連絡等を密に行い、意思の疎通を図って共同で開催するものとする。

(実績報告)

4月から3月までの実施状況を翌年度の4月10日までに提出する。なお、補助対象経費の領収書及び事業ごとの参加者内訳を添付する。

(その他)

1. 補助金を対象以外の事業に使用することはできない。
2. 須賀川市高齢者サロン事業補助金交付要綱の定めに従うこと。

(事業実績)

1. 18年度実績

- (1) 団体数 33 団体
- (2) 補助金額 4,880,000 円 (国保会計より給付費抑制の目的で 300 万円補助)
(15 万円×31 団体、12 万円×1 団体、11 万円×1 団体)
※1 団体 15 万円が限度

(3) 主な活動内容

環境美化、花の植栽、交通安全教室、健康教室、幼稚園児との交流会、ラジオ体操、手芸教室、グランドゴルフ、ゲートボール、歩こう会、友愛訪問、奉仕作業、カラオケ、茶話会

2. 19年度申請

- (1) 団体数 33 団体
- (2) 補助金額 4,950,000 円

3. その他

平成9年度から事業開始

宮城県白石市 平成 19 年 11 月 20 日 (火)

子育て支援事業について (13:00~15:00)

公立刈田総合病院視察 (院内助産所) (15:10~16:00)

【所感】

老年人口比率が 25.9%と全国平均より極めて高く人口減少をくい止めるため、少子化対策に積極的に取り組まれている。さまざまな対策が効果を上げ、合計特殊出生率が 1.48%と加西市は言うまでもなく、全国平均を大きく上回っている。

【特徴】

●妊婦健康診査費助成事業

出産準備期子育て世代の経済的支援を行うために、妊婦健康診査費の助成を 10 回行う。

※妊婦の健診を受けないことが産科病院たらい回しの一因になっている。

1 人当たり 41,900 円の助成 予算額 1,100 万円

●誕生祝い金

将来地域の宝となるよう前途を祝福し、心身共に健やかに成長することを願って、平成 17 年度に創設された。

平成 18 年度実績

1 人当たり贈呈額	支給人員	贈呈額
第 1 子 10,000 円	120 人	1,200,000 円
第 2 子 20,000 円	86 人	1,720,000 円
第 3 子 30,000 円	31 人	930,000 円
計	237 人	3,850,000 円

未支給者 50 人 (市税等滞納者)

●しろいしファミリーサポートセンター

市民による子育ての相互支援制度として仕事と家庭の両立と家庭生活の安定を図り、安心して子育てが出来る環境の整備、保護者等の福祉の増進及び児童の福祉の向上を図る。

会員数 (H19.3.31 現在)

提供会員	依頼会員	両方会員	総計
124 人	382 人	70 人	576 人

●保育園の概要と休日保育等

1. 保育目標 (8 園共通)

いきいきとした心豊かな子どもを育てる

- (1) 心身ともに健康な子ども
- (2) 友達など人を大切にし互いに思い合う子ども
- (3) 物事をよく見つめ考える子ども
- (4) よろこんで話したり聞いたりする子ども

(5) 様々な体験を通して自己を豊かに表現する子ども

2. 事業内容

保育園名	定員	対象児童	保育時間 (月～金)
東保育園	50名	1才児～5才児	7:30～(8:30～16:30)～18:00
西保育園	90名	0才児～5才児	7:30～(8:30～16:30)～18:30
南保育園	90名	0才児～5才児	7:30～(8:30～16:30)～19:00
北保育園	60名	1才児～5才児	7:30～(8:30～16:30)～19:00
越河保育園	50名	1才児～5才児	7:30～(8:30～16:30)～18:00
深谷保育園	60名	1才児～5才児	7:30～(8:30～16:30)～18:00
白川保育園	40名	1才児～5才児	7:30～(8:30～16:30)～18:00
大鷹沢保育園	50名	1才児～5才児	7:30～(8:30～16:30)～18:00
小原保育園	20名	1才児～5才児	平成15年度から休園中

- ・ 7:30～8:30 繰り上げ保育
- ・ 8:30～16:30 通常保育
- ・ 16:30～19:00 延長保育 (内 18:00～19:00 特例延長保育)

○土曜日の保育 (各園対応から3園に集合して保育)・・・平成19年度より変更

実施場所	委託保育園	保育時間
西保育園	東保育園・白川保育園	7:30～18:30
南保育園	越河保育園・大鷹沢保育園	7:30～19:00
北保育園	深谷保育園	7:30～19:00

※希望により保育園を選ぶことができる。グループ毎の保育士で対応。

- ・ 保育料 ……通常保育 (月～土) 所得により異なる
特例延長保育のうち 18:30～19:00 150円/日

○休日保育 (年末年始を除く日・祝日)・・・平成19年度より開始

- ・ 実施場所 ……南保育所
- ・ 対象児童 ……市内保育園に在園する児童 (当該年度4月1日現在 満1歳以上)
- ・ 条 件 ……就労等により保育ができない世帯の児童
- ・ 保育時間 ……8:00～18:00
- ・ 保 育 料 ……2,800円/日 (通常保育と別料金)

→実績は1日あたり1～2人程度

○その他

- ・ 乳児 (0才児) 保育
生後6ヶ月以上の乳児 (南保育園6人・西保育園6人)
- ・ 障害児保育
特別児童扶養手当の支給対象障害児、養育手帳交付児童
集団保育が可能であること。
- ・ 保育園の開放
何らかの発達につまづきが見られる児童に対し、集団保育が発達面で効果があると判断され、原則として当該保育園に入所することを前提として、自由遊びの時間に保護者付き

で保育園の場を開放する。

・発達相談

精神発達等につまづきが見られる児童について、保育士や希望する保護者に対し、専門の分野の講師による指導・相談の場を設ける。

●公立刈田総合病院（白石市外二町組合）

白石市、蔵王町及び七ヶ宿町住民の健康保持に必要な医療及び介護保険事業を提供するため、病院事業を設置された。

- ・工 期 ……平成 12 年 8 月～平成 14 年 3 月
- ・延床面積 ……25,862 m²（1 床当たり 83.97 m²）
- ・構 造 ……鉄骨鉄筋コンクリート造 免震構造 3 階建
- ・事 業 費 ……建築設備 11,397,192 千円
医療機器備品 2,096,557 千円
その他（土地） 743,617 千円
- ・財 源 ……自己資金・積立金取り崩し 209,323 千円
・その他病院資金 184,365 千円
補助金・国庫補助金 114,776 千円
・県補助金 57,002 千円
起債・病院事業債 13,671,900 千円
- ・診療科目 ……18 科
- ・病 床 数 ……308 床
- ・医 師 数 ……29 名 研修医 3 名
- ・患者取扱い状況（平成 18 年度）
入院 86,914 人（1 日平均 240 人）
外来 159,634 人（1 日平均 622 人）

○院内助産所について

産科医の負担軽減を図ることが急務となったので、平成 18 年度に設置した。

正常に経過している妊婦で医師が正常分娩可能と診断された妊婦（20 歳～35 歳）

3 人の助産師が産科と兼務で当たっている。

【所感】

多くのデザイン賞を受賞された有名な建築家が設計された高級ホテルに負けないモダンな病院で敷地や床面積が広く快適な環境の病院である。

財源の 80%以上が起債であり、将来に亘って経営が厳しいと思われる。

院内助産所は産科医不足が続くと予測される状況で良い制度であると思うが、産科医の負担は軽くなったが、助産師の負担が極めて重くなったと言われていた。今後助産師の養生が課題である。

公立置賜総合病院（山形県） 平成 19 年 11 月 21 日（水）

平成 5 年 9 月に置賜地域医療懇話会が設置され、7 年後の平成 12 年 11 月に高度技術と充実した医療環境の病院として開院された。

総事業費 39,022 百万円

財源内訳

・特定財源

県支出金	1,494 百万円
地方交付税	14,831 百万円
その他	155 百万円
計	16,480 百万円

・負担金（一般財源）

山形県	18,153 百万円
長井市	1,345 百万円
南陽市	1,455 百万円
川西町	1,113 百万円
飯豊町	475 百万円
計	22,542 百万円

【特徴】

- ・ 高度医療を提供する拠点病院
- ・ 救命救急センターの設置
- ・ サテライト医療施設との連携
- ・ 医療構想

サテライト医療施設 812 床→160 床

再編前

長井市立総合病院	463 床
南陽市立総合病院	251 床
川西町立病院	98 床
飯豊町中央診療所	無床

再編後

公立置賜長井病院	110 床
公立置賜南陽病院	50 床
公立置賜川西診療所	無床
飯豊町診療所	無床

- ・ 公立置賜総合病院 500 床

・ 医師

置賜総合病院	77 名 + 研修医 10 名
公立置賜長井病院	3 名
公立置賜南陽病院	4 名

【病院利用状況】

	1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	病床利用率
基幹病院	1,019人	483人	93%
サテライト	615人	150人	94.5%
総計	1,634人	633人	93.1%

(平成18年度)

【経緯】

置賜地域は3市5町人口約24万人の地域で、それぞれに自前の病院、診療所をもって地域医療にあたってきた。各市町とも施設の老朽化から建替えの時期を迎えていたが、財政的に苦しい状況から実施に踏み切れなかった。

置賜地域には県立病院がなく、高度、救命医療には山形大学医学部附属病院等に依存していたので、県立病院の設置を強く要望されていた。

県では、置賜地域が唯一県立病院のない、二次保健医療圏として何らかの手立てを考えていたが、財政的に新たな病院を設置することは困難で、各市町の病院、診療所はサテライト医療施設とした財源は県が半分負担し、維持管理費も財源同様、県が半分負担することになっている。事務局長も県からの派遣である。

医師については、初代院長が山形大学学長であったので、十分確保でき、現在も安定しているとのことである。

【所感】

北播磨中核病院については、公立置賜総合病院の経緯、状況から判断すると、以下の点から実現は困難ではないかと思われる。

- ・ 兵庫県は現財政状況下で多額の財源、維持管理費の負担は不可能
- ・ 中核病院の医師については現在の各市町病院の医師をほとんど引き上げて当てる可能性が高い。
- ・ 西脇市民病院は新築したばかりでサテライト医療施設にはならない。
- ・ サテライト医療施設になれば、公立置賜長井病院(463床→110床)、公立置賜南陽病院(251床→50床)から判断すると、病床数は4分の1～5分の1になる可能性がある。
- ・ 現病院の医師はほとんど中核病院に引き上げられ、5人以下になる可能性がある。
- ・ サテライト医療施設は診療所並みとなる可能性がある。

【公立置賜総合病院の医療機能】

・ 病床数 520床

内訳

一般病床 476床

第二種感染症病床 4床

精神病床 20床

救命救急センター 20床 (ICU・CCU 8床、HCU 12床)

・診療科目及び診療ユニット数

18診療科 36ユニット

内科 (5)、循環器科 (1)、小児科 (3)、精神科 (2)、神経内科 (当面非常設とし内科に含む)、外科 (2)、整形外科 (3)、脳神経外科 (3)、心臓血管外科 (1)、産婦人科 (3)、眼科 (1)、耳鼻咽喉科 (3)、皮膚科 (2)、泌尿器科 (2)、リハビリテーション科 (1)、放射能科 (1)、麻酔科 (救命救急センター外来と使用)、歯科口腔外科 (3)

※外科・整形外科共同診察ユニット (1)

※外来処置室 (点滴スペースとして利用)

・その他診療機能

人工透析 14台

手術室 8室 (1室はBCR対応)

未熟児室 3床 (4階東小児科病棟、医療器械対応)

外来化学療法ベッド数 12床

BCR対応病室 2床 (5階東内科病棟、医療器械対応)

第二種感染症病床 4床 (7階東内科病棟)

・夜間・休日の救急体制

救命救急センター

・医師 夜間、休日は宿日直体制・オンコール体制

・看護師 救命救急センター外来は3交代制 (外来看護師の応援体制有)

手術部門は、宿日直体制

・その他 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師は宿日直体制で対応する。(各部門1名)

・検診事業等

人間ドックについては、現在一泊ドックのみ (8階東病棟個室2床を利用)

・各種指定等

救命救急センター

地域がん診療連携拠点病院

災害拠点病院 (地域災害医療センター) [置賜二次医療圏]

第二種感染症指定医療機関 [置賜二次医療圏]

へき地医療拠点病院

老人性痴呆疾患センター

臨床研修指定病院

SARS入院治療指定病院

【サテライト医療施設の医療機能】

	公立置賜 長井病院	公立置賜 南陽病院	公立置賜 川西診療所	飯豊町診療所
病床数	110床 (旧 463床) 一般 50床 精神 60床	50床 (旧 251床) 一般 50床	無床 (旧 98床)	無床
診療科目 及び診療 ユニット 数	7診療科 10ユニット 内科 (4) 外科 (1) 精神科 (1) 整形外科 (1) 眼科 (1) 耳鼻咽喉科 (1) リハビリテーショ ン科 (1)	7診療科 9ユニット 内科 (3) 外科 (1) 泌尿器科 (1) 整形外科 (1) 眼科 (1) 耳鼻咽喉科 (1) リハビリテーショ ン科 (1)	4診療科 5ユニット 内科 (2) 外科 (1) 整形外科 (1) リハビリテーショ ン科 (1)	1診療科 2ユニット 内科 (2)
夜間・休 日の救急 体制	・医師 宿日直体制 ・看護師 宿日直体制 ・その他 他の医療技術者 については、オンコ ールを含め対応を とらない。	・医師 宿日直体制 ・看護師 日直体制 ・その他 他の医療技術者 については、オンコ ールを含め対応を とらない。	特になし	特になし
その他 診療機能	人工透析 (20台)	人工透析 (10台)		